

# 有限会社ふかやま

★卸売業、小売業 筑後地区 ★甘木鉄道 松崎駅徒歩5分

◎住所:小郡市松崎732 ◎設立:1994(平成6)年2月1日 ◎正社員数:5名(男性:2名 女性:3名)  
◎TEL:0942-72-2511 ◎事業所:小郡市 ◎HP:http://www.fukayama.co.jp

ふかやまはオフィスの「ない」をすぐにお届けする「E-bungu」サービスを提供する正規店として、多数の商材を取り扱い、お客様の働く環境の課題をスピーディに解決することを目指している。教育教材、書籍、事務用機器及び文具、医療機器(車いす、ベット等)の販売。PCソフトウェアなどの個人及び企業への操作要員の派遣教育、データ入力・処理作業、情報通信機器、PC関連のソフトウェア開発、製造、販売。他にも演劇、音楽会、講演会の企画製作や、スポーツ用品の開発及び販売など、新しい商材も積極的にお取扱っている。

採用実績データ	2013	2014	2015
過去3年新卒採用実績	-	-	-
過去3年中途採用実績	-	-	-



中途採用窓口開設中	17年採用窓口開設中	年間休日	残業時間	初任給	平均年齢	平均勤続年数
—	—	79日	0時間(月平均)	15.0万	54.0歳	20.0年

- 私たちの宣言内容 ●●●
- 社内報の送付や定期的な情報交換を行い、休業中の不安をやわらげるようコミュニケーションを図ります。
  - 個々のニーズに応じて始業・終業時刻の繰上げ、繰り下げを可とします。
  - 必要なときに、子連れ出勤可とします。
  - 日祭日出勤の可否を確認します。
  - 通院等家族のための半日単位、時間単位の休暇を認めます。



女性スタッフ Aさん

## 子供に嬉しい働く環境に感謝

子供の病気や、学校行事のある時に快く休暇を取らせてくださったり、子供の誕生日や進学進級の節目にはプレゼントや、お祝いをいただいたりして、感謝しています。

## ふかやまからのメッセージ

お客様の働く環境整備を行う企業として、社員が満足して働ける環境を整えることが重要と考えています。特に仕事と子育ての両立ができることが、社員から求められており、当社では子供と過ごす時間を大切にする取組を始めました。従業員の男女を問わず、学校行事や子供とのレジャーのための休暇取得を積極的に促進したり、病気の時や通院が必要な時には優先的に1日休暇や時間単位の休暇を取れるようにしています。社員同士で、子供を含めた家族ぐるみの付き合いをしており、お互いの状況を親身になって理解し合うことができています。そのことで、仕事上でチームワークがしっかりと強まって、働きやすい職場となっています。

# 株式会社スピナ

★不動産賃貸業、その他 北九州地区 ★JR八幡駅徒歩5〜8分

◎住所:北九州市八幡東区平野2-11-1 ◎設立:1952年(昭和27年)9月1日 ◎資本金:4億8000万円 ◎正社員数:335名  
◎TEL:093-671-0344 ◎事業所:北九州市 ◎HP:http://www.spina.co.jp

不動産賃貸事業、建設業、ビルメンテナンス事業、自動車事業、商品販売事業、緑化事業、太陽光発電事業など多岐にわたる業種展開を行うユニークな企業。多種多様な業種を提供できるという強みを生かし、お客さまのニーズに合った組み合わせの企画・提案を行っている。

採用実績データ	2013	2014	2015
過去3年新卒採用実績	-	1名	3名
過去3年中途採用実績	4名	13名	11名



中途採用窓口開設中	17年採用窓口開設中	年間休日	残業時間	初任給	平均年齢	平均勤続年数
—	—	98日	5~10時間(月平均)	18.5万(大卒)	55.8歳	10.8年

## ●●● 私たちの宣言内容 ●●●

- 社内イントラネットに育児休業等制度を掲載し、制度周知を図ります。
- 毎週木曜日「ノー残業デー」を導入します。



女性スタッフ Aさん

## 仕事と子育てが両立できる風土があります

育児休業や勤務時間短縮の制度があり、先輩と同僚が利用して子育てと仕事を両立して頑張っている姿を間近で見えていますので、私も将来子供が産まれたらその制度を利用し、長く続けて働きたいと思います。

## スピナからのメッセージ

社員がいきいきと能力を発揮して働くためには、育児や介護をしながらでも安心して働き続けられることが大切です。そのため当社では、仕事と家庭を両立できる制度の充実を図るだけでなく、職場環境の整備にも力を入れてきました。

出産や育児を控えた社員の両立への不安や疑問の解消には、社内イントラネットを活用し、社内の経験者に相談できる仕組みを作って対応しています。また、出産や育児を控えた部下を持つ上司に対して、部下を適切にサポートするよう指示し、部署全員でバックアップするよう心がけてきました。こうした取組を続けたことによって、育児休業取得者及びその延長申請者が増加しており、社内には子育て支援制度を利用しやすい雰囲気が出ています。